

## 南国市に所在する野中廃寺跡の国史跡指定について

南国市教育委員会

令和7年12月19日（金）に開催の国の文化審議会において、南国市に所在する野中廃寺跡を国の史跡に指定するよう文部科学大臣に答申されました。

## 1. 概要

名称 野中廃寺跡（のなかはいじあと）  
所在地 南国市元町1丁目他  
指定面積 5351.58㎡  
年代 奈良時代

※現在、現地は私有地であり、説明看板等も設置していません。見学に際しては近隣住民等の迷惑にならないように注意してください。

※現地に駐車場はありませんので、車でお越しの際は南国市日吉町観光駐車場（300m、徒歩約5分）や市役所駐車場（400m、徒歩約7分）をご利用ください。

## 2. 指定理由の概要

野中廃寺は奈良時代中頃の国分寺と同時期に創建した古代寺院です。

発掘調査により、金堂、塔、中門、講堂基壇の掘込地業を確認し、法起寺式の伽藍配置をとることが判明し、他に掘立柱建物による僧房2棟、付属の総柱建物1棟が検出されています。現状では、四国で唯一、伽藍の全貌が明らかになった寺院です。中でも、金堂の規模は土佐国分寺に匹敵し、かつ精緻な掘込地業を行う本格的な伽藍を有しています。他にも瓦は土佐国分寺と共通のものが使われているとともに、伽藍の傾きも同時代の周辺の古代遺跡が香長条里の方位に規制されているのに対し、土佐国分寺と野中廃寺は独自の類似した方位をとるなど類似点が多く、両者には深い関係を読み取ることができます。

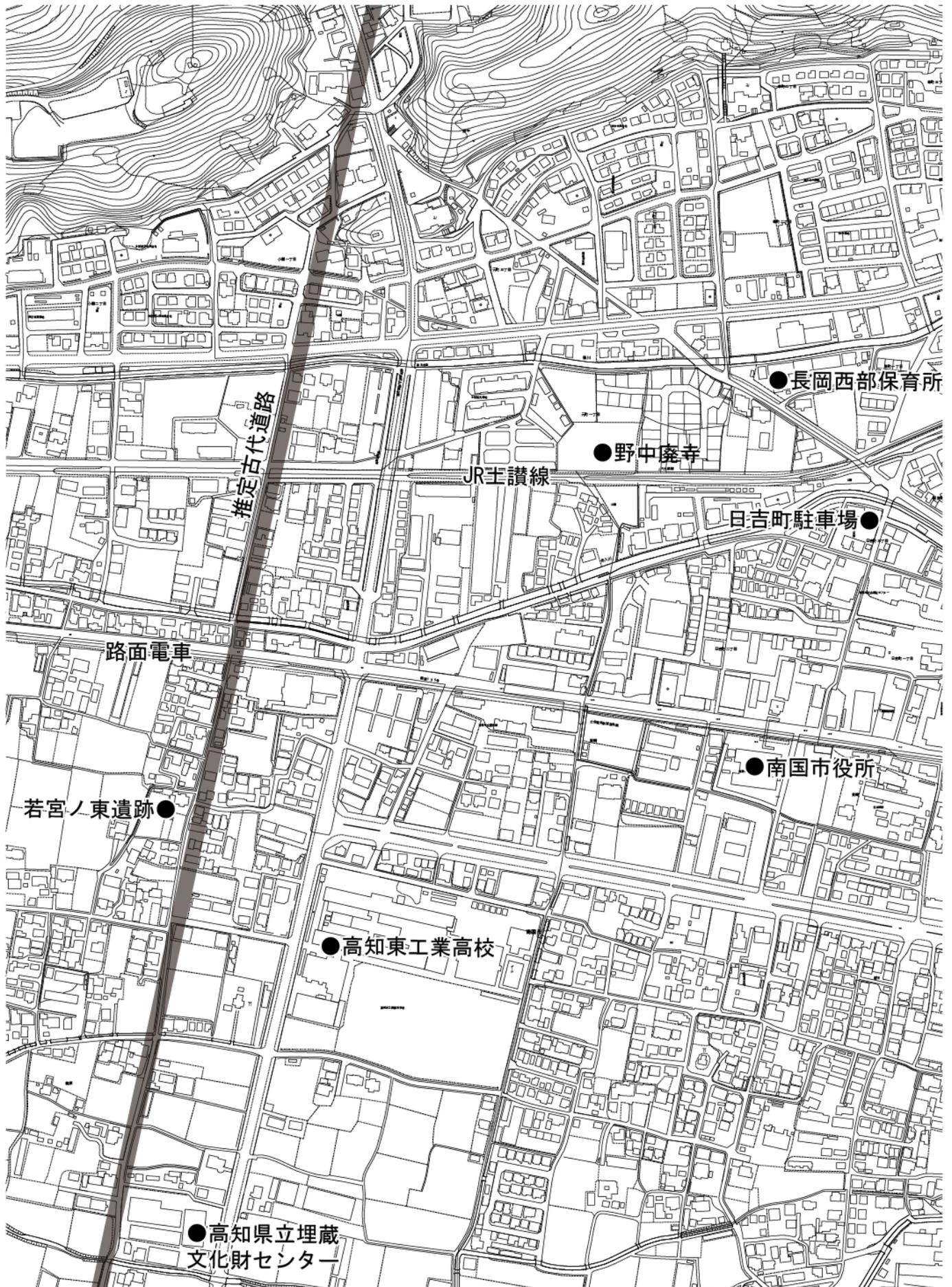
これらのことから、野中廃寺は国分寺造営が郡司層の造寺活動を活発化させたことを示す典型的な事例であり、古代における寺院造営を考える上でも重要であることが評価され、国の文化審議会から国の史跡に指定するよう文部科学大臣に答申され、今後、答申通り指定される見込みです。

## 3. 国指定史跡数

これにより、高知県内での国史跡の新規指定は平成28年10月3日指定の「土佐遍路道」以来13件目、南国市内では、平成20年7月28日指定の「岡豊城跡」以来4件目となります。

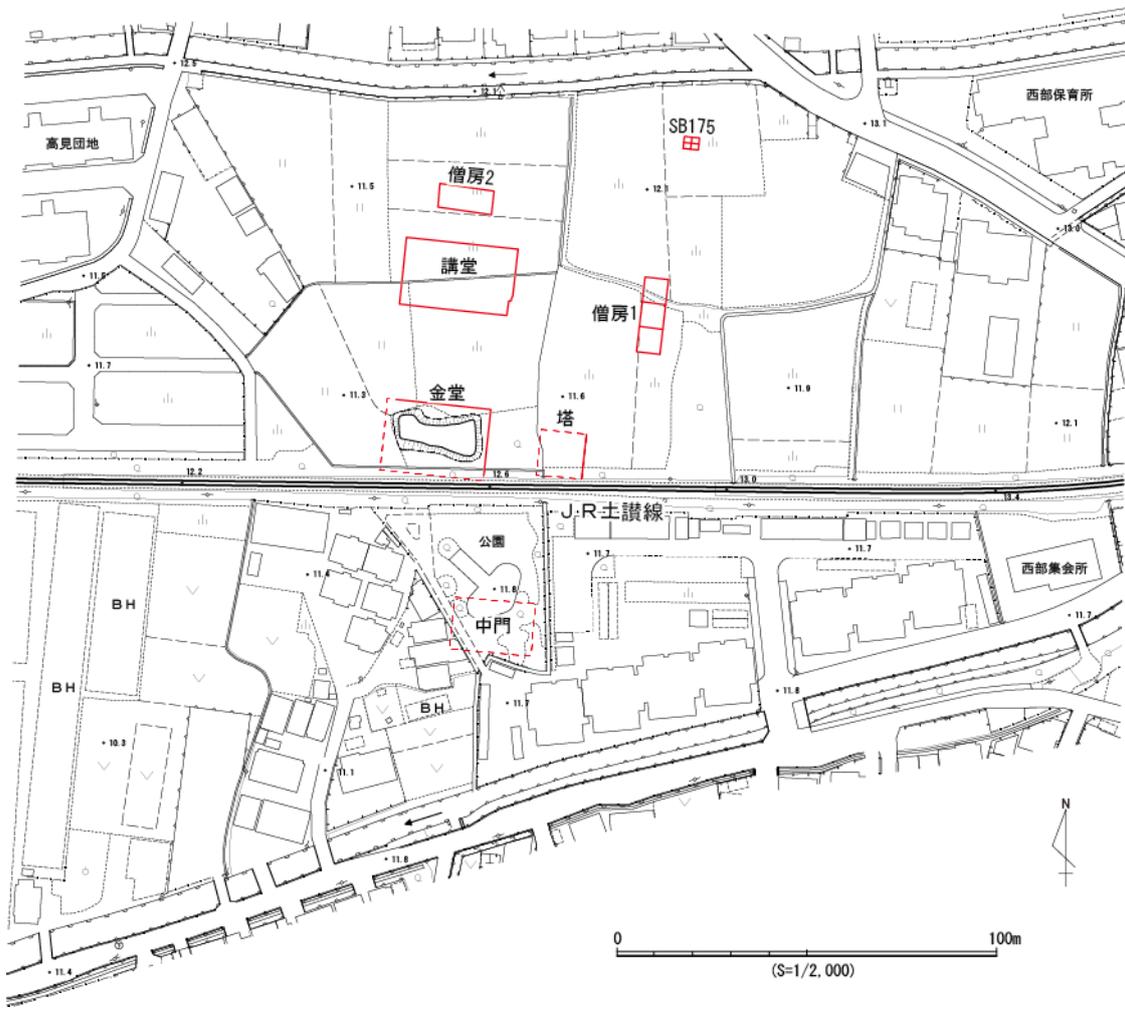
## 高知県内の国指定史跡一覧

名称	所在の場所	指定年月日
1 土佐国分寺跡	南国市国分	T11.10.12
2 比江廃寺塔跡	南国市比江	S9.1.22
3 龍河洞	香美市土佐山田町逆川	S9.12.28
4 武市半平太旧宅及び墓	高知市仁井田	S11.9.3
5 土佐藩砲台跡	須崎市中町	S19.11.13
6 谷重遠墓	香美市土佐山田町秦山町	S19.11.13
7 宿毛貝塚	宿毛市貝塚	S32.7.27
8 高知城跡	高知市丸ノ内	S34.6.18
9 不動ガ岩屋洞窟	高岡郡佐川町西山	S53.12.19
10 岡豊城跡	南国市岡豊町	H20.7.28
11 土佐藩主山内家墓所	高知市筆山町	H28.3.1
12 土佐遍路道	高知県内	H28.10.3
13 野中廃寺跡	南国市元町1丁目	未定



野中麩寺へのアクセスと周辺遺跡





野中廃寺地形測量図と伽藍配置



野中廃寺金堂基壇(北東から)



野中廃寺空撮(南から、北に土佐国分寺を臨む)



野中廃寺空撮(東から)



秦泉寺廃寺と同范

1



2



3



4



2 丸瓦接合部拡大

野中廃寺出土軒丸瓦



野中廃寺



土佐国分寺



介良若宮窯跡

同じ叩き板の痕跡がある野中廃寺・土佐国分寺・介良若宮窯跡出土平瓦